

四三八二番

布多富我美 悪しけ人なり あたゆまひ 我がす
る時に 防人に差す

四三八三番

津の国の 海の渚に 舟装ひ 立し出も時に 母
が目もがも

四三八四番

暁の かはたれ時に 島陰を 漕ぎにし舟の
たづき知らずも

四三八五番

行こ先に 波なとゑらひ 後には 子をと妻を
と 置きてとも来ぬ